

6. 1 通研国際シンポジウム

第12回 RIEC スピントロニクス国際ワークショップ

12th RIEC International Workshop on Spintronics

開催日：平成26年6月25日（水曜日）～27日（金曜日）（3日間）

開催場所：東北大学 電気通信研究所 ナノ・スピン実験施設

参加人数：116名（うち外国人参加者人数39人）

本ワークショップは2005年に第1回が開催されて以来、ほぼ年1回のペースで回を重ね、今回で12回目の開催である。毎回、国内外からスピントロニクス分野の第一線で活躍する研究者が参加して最新の研究成果を発表しており、我が国を始め、アメリカ、フランス、イギリス、スイス、チェコ、スウェーデン、カナダ、韓国、シンガポールから17件の招待講演と27件のポスター発表がなされた。

今回開催されたワークショップでは、スピン軌道相互作用を介した諸現象が一つの大きなテーマであった。スピン軌道相互作用が強い系では、電気伝導によって特徴的なスピンの流れや蓄積が生じる。10年程前は主に半導体において低温で観測される微小な効果であったが、室温でのナノ磁性金属の磁化の制御までここ数年で急激に進展した。講演は、深い物理と同時に応用の可能性を強く感じさせるものとなった。ポスター発表では本学の学生も発表を行い、世界の一流研究者に対して自分の研究内容を伝え議論することで、今後の研究を進めていくための良い示唆と大きな刺激が得られたものと思う。



ナノ・スピン実験施設 カンファレンスルームにて